

第2分科会

農業振興

二本松市



●二本松市

里山の恵みと人の輝くふるさとづくり

～今活かそう！資源は地域に埋もれてる～

内容紹介

市町村合併による周辺地の衰退を危惧して協議会を立ち上げ、市より道の駅の指定管理を受けて、道の駅を拠点に活動をしています。

里山の活性化のためブランド野菜や桑の葉の特産品づくりと多様な交流を行っています。

原発事故はフクシマの状況を大きく変貌させました。風評被害の中で、自分たちの足元に資源が埋もれていることに気づき、地域資源は自分たちが見つけ、活かすという考え方が生まれ、特産品の開発や滞在交流のため民宿に着手しました。多彩な取組が認められ、平成29年11月に第56回農林水産祭むらづくり部門で日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。交流会では、原子力災害を乗り越えた熱い思いを抱く人々と、地酒を飲みながら、地域資源を活かす手法について考えてみたいと思います。人と人との出逢の大切さが実感できるプログラムを用意してお待ちしております。さあ、飲んで語って学んべえ。どうぞ、みなさん二本松市東和地域に来てください！



里山を満喫する二日間



1日目は、震災後の放射性物質調査等の活動のご紹介と桑加工施設、堆肥センター、ワイナリーを見学していただきます。交流会はワイナリーにて地元のアルコールと郷土料理の「ザクザク汁」をお楽しみください。新規就農者や移住者とも交流を深めて下さい。全国からの参加者の皆様には取り組んでいる地域づくり活動についてお聞かせ下さい。

2日目は、東和の高原地帯でリンゴの収穫体験をしていただきます。蜜たっぷりのリンゴをもぎり、頼張って里山の秋の恵みを満喫して下さい。その後、地域づくりについての課題や問題の抽出と誰が、何を、どのように進めて行くべきかなどについて、道の駅にてワークショップ形式による意見交換会を行います。

【災害復興プログラム】震災後の放射能対策の実践プログラムによる放射性物質測定の取組や農家支援等について紹介します。

【桑の加工所】桑の荒茶づくりから販売まで、一貫製造可能となった桑加工所を見学していただきます。

【堆肥センター】道の駅ブランド「東和げんぎ野菜」の源である堆肥を生産しています。



まるで我が家のように
アットホームな
農家民宿です。



農家民宿「ゆんた」

分科会会場：二本松市

宿泊場所：「ゆんた」、「くまさん」

「大野農園」、「季の子工房」

他、同等

詳細ページ：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/221656.pdf>

募集定員：30名

現地経費：13,000円（相部屋）

●17日（土）／昼食費 1,200円、宿泊費 4,000円（1泊朝食付）
夕食交流会 3,000円、夜なべ談義 2,000円

●18日（日）／昼食費 1,300円
収穫体験等 1,500円

※費用については全て税込みとなります。



分科会スケジュール 全体会場から分科会会場までバスでご案内します。

| | | | | | | | |
|--------------|-------------------------|--|--------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---|--------------------------|
| 11/17 土曜日 | 12:20 全体会場出発 | 12:40 車中で昼食 | 13:30 道の駅 ふくしま東和視察 | 15:30 桑加工施設 堆肥センター・ワイナリー | 18:00 分科会交流会 パーティ形式 | 19:30 農家民宿へ移動 | 20:30 夜なべ談義 ※持ち込み可 |
| 11/18 日曜日 | 8:50 道の駅 ふくしま東和集合 | 9:00 羽山リンゴ団地でリンゴ狩り (雨天の場合はナメコ狩り) どちらもお土産付。 | 10:00 ワークショップ | 11:45 道の駅ふくしま 東和で昼食 | 12:45 解散。バスにて JR二本松駅まで送迎。 | 14:00 別メニュー※別途料金 (日本三大菊人形、 高村智恵子記念館) | |

お問い合わせ先

特定非営利活動法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

〒964-0111 福島県二本松市太田字下田2-3

TEL.0243-46-2113

担当 武藤

FAX.0243-46-2114 mail:yuukinosato@piano.ocn.ne.jp